

ほけんだより 12月

平成25年 12月 栃木市立皆川城東小学校

寒くなっています。栃木市内でもインフルエンザの発生がみられます。インフルエンザ対策をしっかりしましょう。



かぜインフルエンザが流行る季節です。

これから、寒くなり、空気も乾燥してきます。日ごろからうがい手洗いをしっかり行い、睡眠など十分にとって免疫力を高めましょう。

インフルエンザにかかったかな・・思ったら、早めに休養をとり、病院を受診しましょう。

もし、インフルエンザと診断されたら、出席停止となります。インフルエンザの発症後5日を経過し、かつ熱が下がってから、2日間が経つまでは自宅で静養してください。登校の際は、医師の証明書は必要ありませんが、おうちの方の登校証明書を提出いただきます。ご協力よろしくお願ひいたします。



おうちの方へ

ノロウィルスによる感染性胃腸炎の予防について

ノロウィルスは、感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、注意が必要です。汚染された水や調理器具を介して、また、感染者を介してうつりますので、手洗いやうがいなどに日頃から気をつけてください。

感染者の吐ぶつや便などを処理する時は、使い捨ての手袋、マスクを着用し、片付け終わったら、ごみはすぐに捨て、洗たく物は塩素系漂白剤などで消毒しましょう。

タオルやバスタオルの共有もやめましょう。



いのちの授業(学校保健委員会)

1月14日(木)14:00~14:45 日野原重明先生(聖路加国際病院理事長)の『いのちの授業』をエフ・フィールドの先生方に実施いただきました。DVDで命の尊さを学んだあと、聴診器でお互いの心臓の鼓動をきました。DVDの中で、日野原先生は、「命は空気や風のように目には見えない。目に見えないものこそ大切である」と語っていました。

日野原先生からのメッセージ

- ★自分のもっているいのちを大切にしてほしい
- ★家族や友だちのことを大切にしよう
- ★いのちは「時間」。大事に使ってほしい
- ★人のために、大切な自分の時間を使える人になってほしい
- ★「ゆるす」ということ

児童の感想です。

- ・自分や友だちの心臓の音を聞いて速かったり、おそかったりして生きているんだなと思いました。「大切なものは、目に見えない」という言葉は本当だなと思いました。いい勉強になりました。
- ・DVDをみて、いのちはとても大切なと思いました。友だちからいやなことを言われてもゆるすことで友だちと仲良くできるのが、すごいなと思いました。いのちはいつかくなってしまうけど、これからもいのちを大切にしたいです。
- ・心臓の音をきいて、速くなったり、おそくなったりしてすごいなと思いました。人のために自分の時間を使える人になりたいです。
- ・いのちは「時間」でその時間を大切にていきたいです。せっかく生まれてくることができたので、命を大切にていきたいです。
- ・いのちのようにとても大事なものは目にみえないのだなと思いました。いのちはいつなくなるのかわからないので、時間を大切にして生きていきたい。



シャンプーの仕方

頭の肌には、汗の出口だけでなく、あぶらの出口もいっぱい。ひたいの約2倍もの皮脂腺があります。洗い残しや頭の肌へのダメージを防ぐため、給食保健委員会の6年生が2年生にシャンプーの仕方を紙芝居とDVDで伝えました。

